



九州フィナンシャルグループ

Kyushu FG

九州とともに、豊かな未来へ。

ミニディスクロージャー誌 兼 営業のご報告

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日



うるおいある未来のために。

肥後銀行

HigoBank



南の風をのびやかた。

鹿児島銀行

組織概要

株式会社 九州フィナンシャルグループ

本店所在地 (登記上の住所)	鹿児島市金生町6番6号	資本金	360億円
本社所在地 (本社機能)	熊本市中央区練兵町1番地	設立日	平成27年10月1日
代表者	代表取締役会長 甲斐 隆博 (肥後銀行 取締役頭取)	上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 福岡証券取引所本則市場
	代表取締役社長 上村 基宏 (鹿児島銀行 取締役頭取)	証券コード	7180

株式会社 肥後銀行

創立	大正14年7月25日
資本金	181億28百万円
本店所在地	熊本市中央区練兵町1番地
店舗数	123か店 (本支店 118・出張所 4・ 海外駐在員事務所 1)
従業員	2,233人



株式会社 鹿児島銀行

創立	明治12年10月6日
資本金	181億30百万円
本店所在地	鹿児島市金生町6番6号
店舗数	152か店 (本支店 113・出張所 11・ 代理店 27・海外駐在員事務所 1)
従業員	2,257人



(平成28年3月末現在)



代表取締役会長
甲斐 隆博



代表取締役社長
上村 基宏

ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
また、このたびの平成28年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。
さて、平成27年度の国内経済は、輸出・生産面で新興国経済の減速の影響が見られたものの、所得・雇用情勢の改善を背景に個人消費は底堅く推移し、設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復がみられました。
一方、我々を取り巻く金融経済環境は、日本銀行のマイナス金利政策導入やゆうちょ銀行、メガバンクおよび他の地域金融機関等との競合などから厳しさを増しております。
このような環境のもと、昨年10月1日に肥後銀行と鹿児島銀行の経営統合により誕生した九州フィナンシャルグループは、「お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築」を目指し、第1次中期経営計画に取り組んでおります。
その取り組みのさなか発生した熊本地震により、当グループの地元である熊本地方は大きな被害を受けました。我々地域金融機関の使命は、中期経営計画で掲げる経営基盤のひとつである「お客様の多様なニーズに応える総合金融力」を通じ、地域の復旧・復興に向けて安定的な金融サービスを提供していくことであると考えております。
被災地域が再び豊かさと活力を取り戻し、未来づくりに向け前進できるよう、グループ力を結集し、全力で取り組んでまいる所存でございます。
当年度は、皆様方の温かいご支援のもと、本報告書記載のと通りの業績を収めることができました。今後も倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

平成28年6月吉日

株式会社 九州フィナンシャルグループ

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します。

- 1.お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
- 2.地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
- 3.豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

九州フィナンシャルグループについて

Kyushu Financial Group

目指す姿 お客様にとって九州トップの総合金融グループ

「協働」⇒「融合」 2つのステージで実現

① 協働ステージ 具体的な取り組みはP5・6へ
第1次中計（2015年10月～2018年3月）

- 相互理解を深め、有効性を導入し合う。
- 融合ステージにおける統合効果の最大限発揮に向け、強み（ノウハウ）を結集して、グループ総合金融力を高める。
- グループガバナンスの高度化を進め、グループ経営資源を最適に配分する仕組みを構築する。



② 融合ステージ
第2次中計以降（2018年4月～）

- グループ全体の融合を段階的に進め、経営基盤をより強固なものにする。
- グループの連結粗利益と経費効率の両面から、統合効果を最大限に発揮し、持続的成長につなげる。

第1次中期経営計画

基本方針

お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築

お客様の多様なニーズに応える「総合金融力」

- 金融ニーズに迅速かつ的確に応える金融事業領域・商品・サービス
- 地域の持続的成長を実現する地方創生戦略
- グループ収益を支える安定した市場運用収益

ステークホルダーに信頼される「ブランド力」

- 地域・お客様
常に選ばれ続ける高い信頼性（人間力・商品力）
- 株主
安定的な株主還元と積極的なIR活動
- 従業員
グループの一員であるという誇りと高いモチベーション

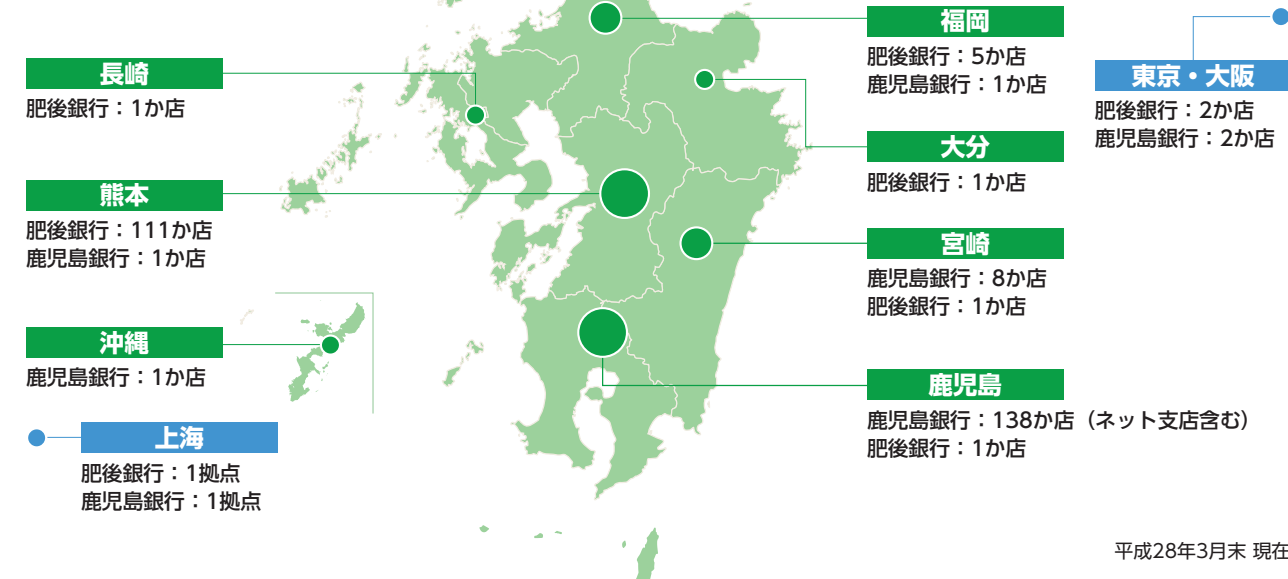
グループ全体最適を実現する「組織運営力」

- 環境変化に適応したグループ経営基盤の強化
- 高度なグループ経営管理態勢の整備
- 総合金融力構築を支える経営・業務の効率化と戦略的人員配置

役員（平成28年6月21日現在）

代表取締役会長 甲斐 隆博	取締役	笠原 慶久	監査役	下山 史一郎	執行役員	西本 純一
代表取締役社長 上村 基宏	取締役	林田 達	監査役	本村 悟	執行役員	江藤 英一
取締役 郡山 明久	取締役	鶴田 司	監査役（社外）	関口 憲一	執行役員	赤塚 典久
取締役 最上 剛	取締役（社外）	渡辺 捷昭	監査役（社外）	田中 克郎	執行役員	宮脇 道秋
取締役 松永 裕之	取締役（社外）	末吉 竹二郎	監査役（社外）	田島 優子		

九州フィナンシャルグループのネットワーク



協働ステージでの取り組み

統合記念キャンペーン

九州フィナンシャルグループ誕生を記念し、また、熊本・鹿児島両県民の交流を願い、個人のお客様を対象としたキャンペーンを実施しました。(平成27年10月1日から12月30日まで)

円貨個人定期預金の金利上乘せのほか、ペア宿泊券や両県の特産品を抽選でプレゼントしました。



KFG地域企業応援ファンド

地場(熊本、鹿児島、宮崎)に本店または拠点を有する企業様に対し、事業基盤の再生、強化、拡大、成長ならびに、第二創業等のあらゆる事業ステージにおいて支援することを目的に、肥後銀行、鹿児島銀行および株式会社Kizunaキャピタルの共同で「KFG地域企業応援ファンド」を設立しました。これまで両行で培ったノウハウ、ネットワークの相互活用により、地域産業および地域企業の更なる発展につながる取り組みを進めてまいります。



日本なまず生産株式会社様(第1号案件)が開発した「うなぎ味のナマズ」

熊本・鹿児島日帰りツアー

平成28年3月、地方創生への取り組みの一環として、自治体等と連携し、熊本・鹿児島間を結ぶ日帰りツアーを実施しました。熊本・鹿児島間をつなぐ「肥薩おれんじ鉄道」を利用し、両県の交流人口拡大につながる機会を創出することで地域活性化を目指すもので、駅マルシェなど沿線地域の魅力を伝えるイベントを実施したほか、到着駅において周辺観光を実施しました。



出発する「肥薩おれんじ鉄道」を見送る地域の人々

肥後銀行⇄鹿児島銀行間の振込手数料改定

肥後銀行から鹿児島銀行宛の振込手数料が肥後銀行本支店宛と同額に、鹿児島銀行から肥後銀行宛の振込手数料が鹿児島銀行本支店宛と同額になりました。今後も、共同施策を通じ、お客様へのサービス拡充に取り組んでまいります。

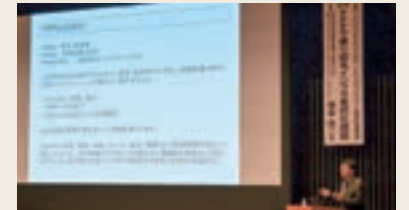
※手数料の詳細については、ホームページまたは店頭でご確認ください。



販売開始後
約10分で
完売!

PPP/PFIプラットフォーム設立

地元自治体の公共施設老朽化問題等に積極的に取り組むべく、PPP/PFIの普及・促進を目的としたプラットフォームを設立しました。肥後銀行と鹿児島銀行が事務局を務め、アドバイザーとして「東洋大学PPP研究センター」「日本政策投資銀行」「日本経済研究所」「PFI推進機構」に参加いただいています。平成28年3月には、東洋大学PPP研究センター長・東洋大学教授の根本祐二氏を講師として、熊本・鹿児島それぞれにおいてPPP/PFIプラットフォーム設立記念講演会を開催しました。



「PPPで乗り切るインフラ老朽化問題」をテーマに講演を行う根本祐二氏

人材交流

人材育成の強化と相互理解促進、グループ一体感の醸成のため、それぞれの地域行事への参加や共同研修の開催などの人材交流を積極的に行っています。平成28年3月には両行の行員を各行35名ずつ相手行に出向させ、人事異動を伴う人材交流も実施しました。

また、平成28年4月に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震により被災されたお客様の被害状況等の把握のため、鹿児島銀行から30名の行員を肥後銀行へ派遣しました。肥後銀行の行員と合計400名体制で被災者の方々への訪問等を実施しました。



鹿児島「おはら祭り」(平成27年11月)
肥後銀行の新入行員24名が参加



入行7年目の女性行員を対象にした「キャリア7
研修」に各行約20名ずつが参加



被災された肥後銀行のお取引先を訪問する鹿児島銀行の行員



女性活躍推進

女性が就業継続し、多様な業務にチャレンジ・活躍できる雇用環境の整備に向けて、平成27年4月に「女性活躍推進室」を新設し、さまざまな取り組みを継続しています。仕事と家庭の両立を支援する主な取り組みには、事業所内保育所「ひごっ子の森保育園」の開設や「仕事と育児・介護の両立支援ガイド」の作成などがあります。また、異業種交流会や各種セミナー、研修を定期開催するなど、女性の能力開発や登用についても積極的にサポートしています。



学び舎応援募債

「学び舎応援募債」は、お取引先の私募債発行を記念して、お取引先がご指定した熊本県内の学校に対して、当行が教材などの物品を寄贈するものです。お取引先、学校、肥後銀行が一体となった、地域活性化の核である教育・子育てへの支援を目的としています。昨年度は、熊本県内の20校に総額350万円相当の物品を寄贈しました。



地域振興フェア

平成28年2月9日～10日、益城町のグランメッセ熊本にて「2016 くまもと地域振興フェア」を開催しました。本フェアは、『熊本の魅力と可能性を世界へ発信』をコンセプトに、“熊本の「農」の力”、“熊本の可能性”の3つのゾーンを設けた、新しい趣向のフェアです。誘致した外国人留学生を含め、2日間でのべ15,000人の来場がありました。



向陽支店の開設

平成28年1月18日、鹿児島市に向陽支店^{こうよう}を開設しました。『おもてなし醸成店舗』をコンセプトに、女性行員のみでの店舗運営を試行しています。また、スマートフォンで事前に予約操作を行うことで、キャッシュカードを利用せずに現金の引出が可能となるサービス「スマホATM（カードレス）引出サービス」の取り扱いを向陽支店設置のATMにて開始しました。今後、対応ATMを順次拡大する予定です。



「ふるさと納税」における業務連携・協力に関する覚書

かのや^{かのや}鹿屋市（市長 中西茂）との間で平成26年6月に締結した包括的業務協力協定に基づき、「ふるさと納税」における業務連携・協力に関する覚書を締結しました。これは、ふるさと納税返礼品を取り扱う事業者の支援や、全国に広がる寄付者に対するサービスの提供等により、鹿屋市の地方創生を実現することを目的としたものです。取り組みの一つとして、平成28年2月に新設した「かざん地方創生支援融資」の融資対象者に鹿屋市のふるさと納税返礼品事業者を追加しました。



地域活性化への取り組み

深刻化する地域の産科不足を解消し、鹿児島県の充実した医療環境に寄与することを目的として、鹿児島県医師会が運営する「医師・助産師・看護師不足対策基金『はやぶさプラン』」に対し、平成27年度より5年間毎年1,000万円寄付することを決定しました。また、平成28年3月6日には、鹿児島市における初めての市民マラソン「鹿児島マラソン2016」が開催され、鹿児島銀行はスペシャルパートナーとして3,000万円の協賛を実施したほか、大会当日は400名超の行員が大会ボランティアとして参加しました。



鹿児島マラソン2016（写真提供：鹿児島市）

財務ハイライト (平成28年3月期)

営業の概況

九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結
(単位：百万円)

科 目	平成28年3月期
経常収益	131,224
経常利益	25,606
親会社株主に帰属する当期純利益	108,471
自己資本比率	12.87%

POINT !

平成28年3月期の業績につきましては、経常収益は1,312億24百万円、経常利益は256億6百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経営統合による初年度特殊要因として、「負ののれん発生益」884億87百万円を特別利益に計上したことにより、1,084億71百万円となりました。

肥後銀行・鹿児島銀行 (2行単体合算)

(単位：百万円)

科 目	2行単体合算		
	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
経常収益	147,687	11,539	136,147
業務粗利益	109,342	△207	109,550
うち資金利益	93,457	1,284	92,172
経費 (除く臨時処理分)	75,529	994	74,534
コア業務純益	31,803	△959	32,763
業務純益	36,476	3,279	33,196
経常利益	39,285	648	38,637
当期純利益	25,525	2,219	23,305

(単位：億円)

総預金残高	78,373	812	77,560
貸出金残高	56,953	3,237	53,715
預り資産残高	10,381	297	10,083

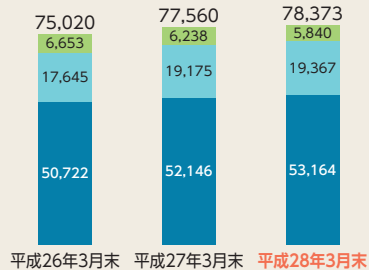
(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

POINT !

業務粗利益につきましては、資金利益は増加したものの、その他業務利益が減少したことなどから前期比2億7百万円減少しました。業務純益は、一般貸倒引当金が戻入となったことなどから前期比32億79百万円増加しました。経常利益は、不良債権処理額の増加等により前期比6億48百万円の増加にとどまりましたが、法人税率の引下げ等により税金費用が減少したことから、当期純利益は前期比22億19百万円増加しております。

総預金の状況 (2行単体合算)

■ 個人預金 ■ 法人預金 ■ 公金預金他 (単位：億円)

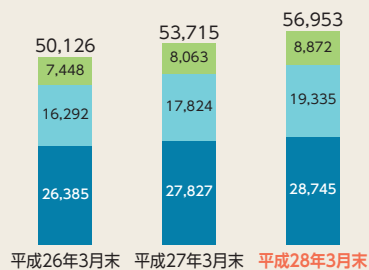


POINT !

両行とも、個人預金を中心に順調に増加しており、2行合算で、前期末比812億円増加の7兆8,373億円となりました。

貸出金の状況 (2行単体合算)

■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向 (単位：億円)

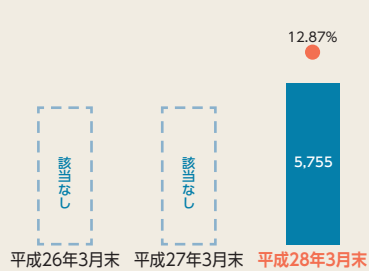


POINT !

肥後銀行では、法人向けと公共向け貸出を中心に、鹿児島銀行では個人向け貸出を中心にともに増加しております。この結果、2行合算で、前期末比3,237億円増加し、5兆6,953億円となりました。

自己資本比率の状況 (KFG連結)

■ コア資本 ■ 自己資本比率 (単位：億円)

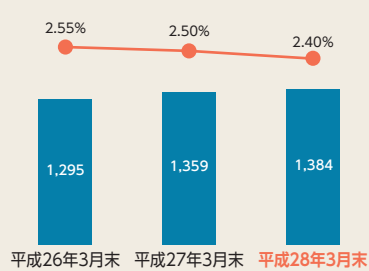


POINT !

連結ベースの自己資本比率は、経営統合における会計上、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が負ののれん発生益として自己資本に取り込まれたため両行の自己資本比率より上昇しております。

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)

■ 不良債権額 ■ 不良債権比率 (単位：億円)



POINT !

金融再生法開示債権の残高は、肥後銀行で564億円、鹿児島銀行で819億円、2行合算で1,384億円となりました。金融再生法開示債権の総与信に占める割合、いわゆる不良債権比率は、2行合算で2.40%となりました。

※肥後銀行は平成28年3月末より部分直接償却は実施しておりません。また、鹿児島銀行は部分直接償却は実施しておりません。

格付

肥後銀行 (平成28年3月末現在)

ムーディーズ・ジャパン㈱
【長期格付】
A1

スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン㈱
【長期格付】
A

株格付投資情報センター(R&I)
【長期格付】
A+

鹿児島銀行 (平成28年3月末現在)

スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン㈱
【長期格付】
A

株格付投資情報センター(R&I)
【長期格付】
A+

平成29年3月期の業績予想および配当予想について

4月に発生いたしました平成28年熊本地震により、現時点では直接・間接的に受ける影響を合理的に見積もることが困難な状況にあることから、当面公表は見合わせることにいたします。今後、合理的な見積もりが可能となった段階で速やかに開示いたします。

財務ハイライト (平成28年3月期 単体)



損益の状況

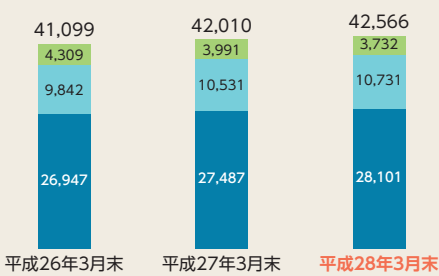
(単位：百万円)

科 目	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
経常収益	76,647	5,159	71,488
業務粗利益	55,415	△616	56,031
経費	39,817	1,830	37,986
コア業務純益	13,957	△2,896	16,853
業務純益	15,598	△1,364	16,962
過去最高益 経常利益	21,420	1,153	20,267
過去最高益 当期純利益	13,977	1,756	12,221

総預金の状況

■ 個人預金 ■ 法人預金 ■ 公金預金他

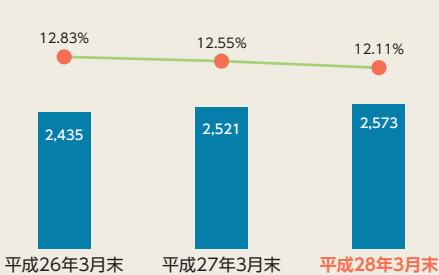
(単位：億円)



自己資本比率の状況

■ コア資本 ● 自己資本比率

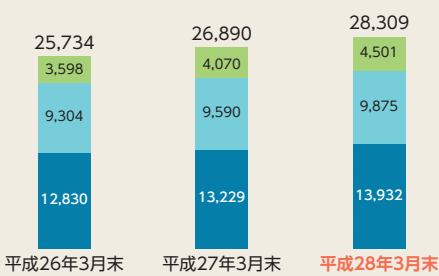
(単位：億円)



貸出金の状況

■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向

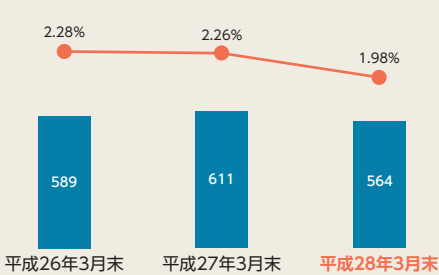
(単位：億円)



金融再生法開示債権の状況

■ 不良債権額 ● 不良債権比率

(単位：億円)



※平成28年3月末より部分直接償却は実施しておりません。

POINT !

2期連続で、経常収益は増収、経常利益、当期純利益はともに増益となりました。

業務純益は、資金利益や役務取引等利益の減少等による業務粗利益の減少や経費の増加により、前期比13億64百万円減少しました。

経常利益は、貸倒引当金戻入益の収益計上や株式等関係損益の増加等により、臨時損益が前期比25億17百万円増加したため、前期比11億53百万円増加し214億20百万円となりました。

当期純利益は、法人税率の引下げ等により税金費用が減少したことから、前期比17億56百万円増加し139億77百万円となりました。

財務ハイライト (平成28年3月期 単体)



損益の状況

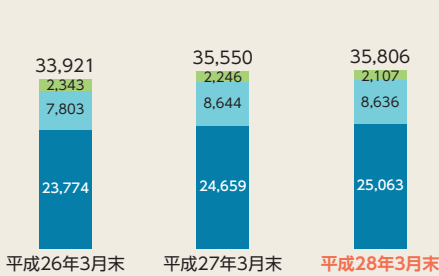
(単位：百万円)

科 目	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
経常収益	71,039	6,380	64,659
業務粗利益	53,927	408	53,519
経費	35,712	△836	36,548
コア業務純益	17,846	1,936	15,910
業務純益	20,878	4,644	16,233
経常利益	17,864	△505	18,369
過去最高益 当期純利益	11,547	463	11,084

総預金の状況

■ 個人預金 ■ 法人預金 ■ 公金預金他

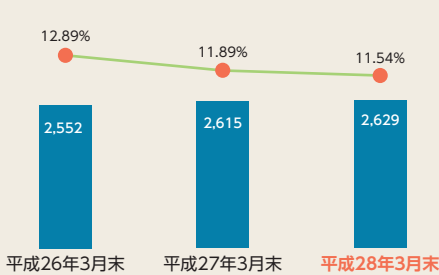
(単位：億円)



自己資本比率の状況

■ コア資本 ● 自己資本比率

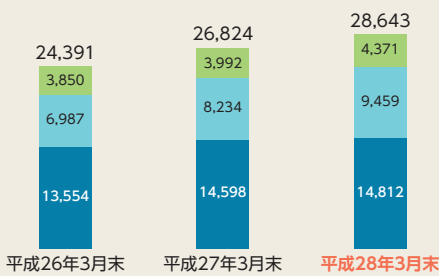
(単位：億円)



貸出金の状況

■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向

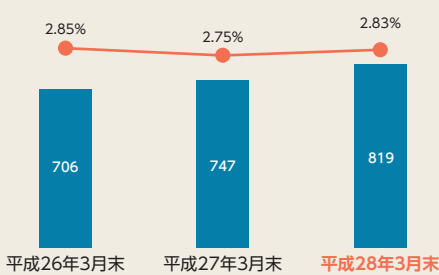
(単位：億円)



金融再生法開示債権の状況

■ 不良債権額 ● 不良債権比率

(単位：億円)



※部分直接償却は実施しておりません。

POINT !

経常収益は2期ぶりの増収、経常利益は3期ぶりの減益、当期純利益は3期連続の増益となりました。

業務純益は、経費の減少に加え、一般貸倒引当金が戻入となったこと等から前期比46億44百万円増加しました。

経常利益は、不良債権処理額の増加等の影響で前期比5億5百万円減少し178億64百万円となりました。

当期純利益は、法人税率の引下げ等により税金費用が減少したことから、前期比4億63百万円増加し115億47百万円となりました。

平成28年熊本地震への対応について

このたびの平成28年熊本地震に関しまして、九州フィナンシャルグループは以下のとおり被災者の方々の支援に取り組んでまいります。



復興支援方針

～活力に満ちあふれた“ふるさと熊本”の創生のために～

- 熊本の復旧に向けた貢献
わたしたちは、熊本を地盤とする地域金融機関として、お客様の事業基盤・生活基盤の再建に向け、金融仲介機能を最大限発揮し、被災されたお客様お一人おひとりの問題・課題の解決に迅速かつ真摯に取り組めます。
- 熊本の復興に向けた貢献
わたしたちは、これまで培ったコンサルティング機能・ソリューション力を発揮し、産学官金との連携、協調、協働を図り、地域の面的な復興や経済・産業の活性化に向け、積極的に貢献します。
- 熊本の未来づくりに向けた貢献
わたしたちは、復興、そして地方創生の実現に向け、金融サービスを通じ、後世に誇れる「活気と魅力に満ちあふれた“ふるさと熊本”づくり」に永続的に貢献します。

震災復興委員会

“ふるさと熊本”の一日も早い復旧・復興に向け、頭取を委員長とする「震災復興委員会」を設置いたしました。本委員会では、上記の復興支援方針に基づき、震災復興支援に向けた対応・対策などを迅速に協議してまいります。

お問い合わせ

被災された方々のあらゆるニーズにお応えするため、預金、融資、義援金についてなどさまざまなサービス・商品をお取り扱いしております。詳細は肥後銀行ホームページまたは下記ご相談ダイヤルにお問い合わせください。

ご相談ダイヤル

	預金に関するお問い合わせ	事業資金・住宅ローンに関するお問い合わせ
フリーダイヤル	0120-1589-86	0120-1589-11
受付時間	平日9:00～17:00 土日10:00～16:00	
祝日の対応	祝日は右記ダイヤルへ 祝日も受付 受付時間10:00～16:00	



鹿児島銀行

預金等のお取り扱い

- (1)預金の通帳・証書・印章等をなくされた方、またはご提出が困難な方は、お支払いについて便宜扱いいたしますのでお気軽にご相談ください。
- (2)定期預金等の払出しについてもご事情によりご相談に応じます。
- (3)支払期日が経過した手形については、取立の便宜扱いいたしますのでお気軽にご相談ください。
- (4)今般の災害を原因とする手形の不渡については、必要な手続きをとらせていただきます。
- (5)損傷通貨のお引換をいたします。
- (6)国債を紛失した場合は、お気軽にご相談ください。

各種ご相談窓口

鹿児島銀行 熊本支店またはお近くの本支店窓口へお気軽にお問い合わせください。
〈熊本支店〉住所：〒860-0802 熊本市中央区中央街5-15
TEL：096-325-3434

融資のご相談

- (1)事業性資金のご相談
災害の復旧、応急資金等の調達やお借入の返済条件変更等のご相談を承ります。
- (2)住宅ローンのご相談
お借入の返済条件変更等のご相談を承ります。
- (3)自然災害による被災者の債務整理に関するガイドラインのご利用について

今回の地震災害の影響により、住宅ローンや事業資金等のお借入の返済が困難となっている個人のお客様におきましては、本ガイドラインをご利用することでお借入の免除・減額を申し出ることができます。
お問い合わせは、左記「各種ご相談窓口」までご連絡ください。※ガイドラインの利用については一定の要件がございます。

個人ローン特別金利のご案内

- (1)ご相談・お申込
お近くの本支店窓口またはかぎんeバンクセンターにて承っております。
eバンクセンター TEL：0120-892-720
受付時間：9:00～20:00(平日)
9:00～17:00(土・日・祝日)
受付期間：平成28年4月25日～平成29年3月31日

- (2)留意事項
・お申込に際しては、所定の審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますので、ご了承ください。
・罹災証明書の提出は不要です。

義援金のお振込み

窓口の振込み手数料は「無料」です。なお、ATM・インターネットバンキング等によるお振込みにつきましては所定の振込手数料がかかりますので、ご了承ください。

義援金の寄付について

鹿児島銀行グループは、被災者の方々の救援や被災地の復興に役立てていただきたく、義援金の寄付を行いました。一日も早い復旧・復興と皆様の安全を、心よりお祈り申し上げます。

●鹿児島銀行グループ 1億円 ●鹿児島銀行グループ役職員一同 1,472,953円

株主の皆様へ

平成28年3月期の配当について

1株あたり配当金

	期 末
普通株式	6円 00 銭

※平成29年3月期の配当予想につきましては、4月に発生いたしました平成28年熊本地震により、現時点では直接・間接的に受ける影響を合理的に見積もることが困難な状況にあることから、当面公表は見合わせることにいたします。今後、合理的な見積もりが可能となった段階で速やかに開示いたします。

ホームページのご案内

最新IR情報やニュースリリース等はホームページからご覧いただけます。

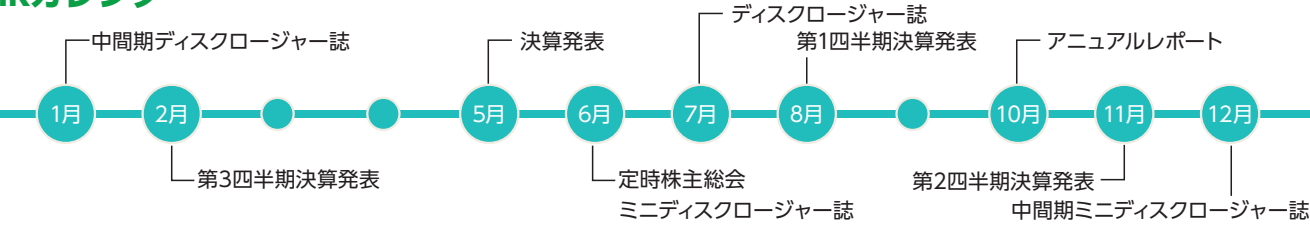
九州フィナンシャルグループ

検索

<http://www.kyushu-fg.co.jp/>



IRカレンダー



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.kyushu-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、熊本日日新聞および南日本新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）		
郵 送 物 送 付 先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部		
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く9:00～17:00）		
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券株式会社	本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）	
		みずほ信託銀行株式会社	本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券株式会社では取次のみとなります）			

※特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。